

Leukocyte deformability is a novel biomarker to reflect sepsis-induced disseminated intravascular coagulation

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2014-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 森川, 美樹 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001525">https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001525</a>

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1462 号

Leukocyte deformability is a novel biomarker to reflect sepsis-induced disseminated intravascular coagulation

(ベットサイドでの好中球変形能の測定による敗血症性 DIC の早期診断)

森川 美樹 (もりかわ みき)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、救急医学領域における難治性合併症の一つである、敗血症に続発する汎発性血管内血液凝固症候群 (Disseminated Intravascular Coagulation; DIC) における好中球 (polymorphonuclear leukocyte: PMN) の変形能の変化に注目し、その簡易的な測定法の開発及び DIC 重症度と PMN 活性化の関係を明らかにしたものである。本研究では、敗血症 DIC 患者 35 名において、本邦で開発された専用機器を用いて測定した PMN 変形能と、日本救急医学会が制定した急性期 DIC score が有意な相関をもち、PMN 活性化の指標ともなりうることを国内外含めて初めて報告したものである。また、従って、日本発の evidence を世界に広く公表するという観点において、極めて貴重な研究であり、その impact は大きいと考えられる。本研究で用いられた、PMN 変形能定量評価に関する簡便かつ反復再現性のある測定法は、今後の敗血症性 DIC の早期予見や治療効果の判定など、敗血症性 DIC 診療を大きく変える可能性を秘め、未だ世界的にも確立された治療法がない敗血症性 DIC の治療法の開発にも応用が期待される。よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。